

放射性セシウム騒動

放射能は怖い。

放射能汚染は目に見えないばかりか知らずに被爆してしまうから怖い。

特に放射性ヨウ素は子供達の甲状腺に蓄積し甲状腺ガンの原因となる。チェルノブイリの事故でも住民に甲状腺ガンが多発した事実がある。

北欧の研究者が世界の国別のがん患者数を高い精度で予測したという話を聞いたことがある。その時の説明変数は国別の「レントゲン設置台数」だそう。X線も立派な放射線だから繰り返し洗ひるとかなり危険なことになる。

セシウム汚染が広がる。

福島原発の事故以来空中に飛散した放射性物質の濃度が毎日のニュースになっている。飼料用の稲藁（わら）がセシウムに汚染した問題でそれを飼料とした牛肉の汚染が全国的に広がって

いる。最近では牛糞堆肥からもセシウムが検出されたことでそれを肥料とする野菜や稲に被害が広がる恐れがある。

放射性セシウムの国で定める基準値は1キログラム当たり400ベクレルであり、これを超えた値が福島原発事故以降、頻繁に検出されている。

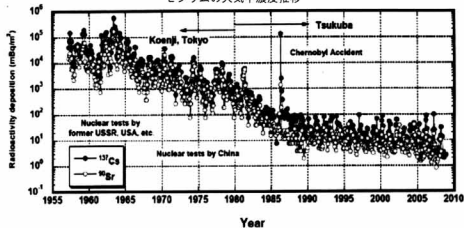
セシウムは怖くない？

わが国の気象研究所の地球化学研究部では一九五五年から大気中の人工放射能の濃度を計測している。一九八〇年までは高円寺でその後は筑波で計測されたデータが下図である。これを見ると一九五〇年代後半から六〇年代では現在の濃度の一千倍から一万倍だったことがわかる。ソ連やアメリカの核実験が原因である。当時は多量多くの食物に多量のセシウムが含まれており日常的にそれを食べていたと思われ

る。その結果何が起きたのだろうか。長崎大学大学院の山下教授はチェルノブイリの事故以降二十五年間の研究データを基に「セシウム137によっては何ら患者が増えていない」と言う研究成果を発表している。何が正しいかは自分で考えるしかないようだ。

（編集部）

セシウムの大気中濃度推移



* m^2 当たり放射能量 (mBq/m²)

* 縦軸: 対数目盛